

事前質問・回答一覧(総合振興計画審議会第1回会議【安全部会】)

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
51	コミュニティ施設の整備	3.現状	①管理協力委員会は各施設に設置され、現在10の委員会が存在するという理解で宜しいですか。	佐藤委員	そのとおりです。	市民活動推進課
			②管理協力委員は各施設利用者を中心とした無報酬のボランティアと理解しますが、彼らの責任の範囲を規定する管理規程的な定めはありますか。	佐藤委員	施設毎に管理協力委員会の役割を定めた「会則」と具体的な管理内容を定めた「管理規程」があります。また、各年度の契約書においても市と管理協力委員会との役割分担表を添付し、適切な管理に努めています。	市民活動推進課
			③市民活動推進課が管理協力委員会を指導・統括しているとの解釈で宜しいですか。	佐藤委員	地域住民や利用団体等の代表者で構成される管理協力委員会と市は、対等な立場で役割分担する協働型委託で施設を管理しております。そのため、指導・統括するというよりも協働のパートナーという考えによるものと解釈しております。	市民活動推進課
		施策修正新旧対比表の5行目と6行目	修正前の「79,200(79,200+70,800)」「95,040(95,040+84,960)」のカッコ内の意味が分かりません。簡単な足し算と見えますが…。	佐藤委員	別紙1の7.施策指標をご覧くださいとイメージしやすいのですが、今回の見直しにより今まで別々に記載していたコミュニティセンターと地域センターの利用者数を合算して表記したいと考えております。その背景は、施設を利用する方から見た場合、コミュニティセンターと地域センターは施設の大小や受付のいる時間等に違いはありますが、それぞれを区別する意味が薄れているためです。なお、カッコ内は、「コミュニティセンター利用人数+地域センター利用人数」を示したものであり、別紙1の当該欄を指標名欄からの横読みではなく、目標値側からの縦読みで見ていただくとわかりやすいと思われます。	市民活動推進課
52	鉄道・バスの利便性の向上	8.修正理由等	「外環上部の有効活用」と「バス路線誘致の実現」が並列に書かれていますが、施策名の「鉄道・バスの利便性の向上」からは後者の目的達成の為に前者の工夫を考案するという事ではないですか。外環上部利用の促進策としてのバス路線誘致なら、当施策変更には違和感があります。一石二鳥を狙うなら上手な書きぶりを求めます。	佐藤委員	市長マニフェストととして『外環上部の有効活用とバス路線誘致の実現』という公約が掲げられており、そのままそのタイトルを示したままであるのご了承ください。	政策課
57	水環境の保全	6.取組内容③	①「地下浸透」は従前の「雨水の有効利用」に含まれていた概念でしょうか、新たな概念でしょうか。	佐藤委員	雨水が地下浸透して地下水となり、それにより生まれる湧水を生活に利用する、といった広い意味では地下浸透も「雨水の有効利用」に含まれる概念と考えられますが、この取組内容の「地下浸透」は、地下水の枯渇への対策として地下水を涵養させることを目的としますので、異なる概念となります。	環境課
			②不勉強で申し訳ありませんが「雨水浸透施設設置費補助制度」とは何でしょう？ 緊縮予算下の和光市財政からの捻出は想像困難なので、県の制度の活用でしょうか？	佐藤委員	「雨水浸透施設設置費補助制度」とは、市内の湧水等の保全及び地下水の涵養を図るため、既存住宅に雨水浸透施設(雨水浸透枳又は雨水浸透トレッチ)を設置した方に対し、予算の範囲内で補助金を交付するもので、平成27年度から実施する、市独自の制度です。財源については、これまで実施してきた雨水貯留槽設置費補助金の総枠において事業費を確保しています。	環境課
58	生活環境保全の推進	7.施策指標	新指標名として「駅周辺の美化推進活動によるゴミ収集量」が提案されていますが、「美化活動の推進」と「美化推進活動」とはニュアンスがかなり異なります。6.取組内容①の※1で「美化活動団体とは」で環境美化活動を謳っているのですから、わざわざ美化推進活動と置き換えずにストレートに「…美化活動による…」で宜しいのではないのでしょうか。	佐藤委員	「駅周辺の美化推進活動」ですが、この活動は市が委嘱した「美化推進員」によるゴミ収集に併せて、啓発活動や指導等も含んだ活動のため、このような文言にしておりますが、より適切な表現も検討してまいります。	環境課

施策番号	施策名	質問項目	質問内容	委員名	回答	所管課
60	廃棄物の適正処理の推進	グラフ	修正前は「…搬出量…処理量の推移」が、修正後は「…搬入量…搬入量」となっています。搬入と搬出では逆の意味、搬入と処理では別概念と思います。言葉は違って同じことを述べているのでしょうか。ご説明と言葉を変える理由を教えてください。	佐藤委員	最終処分場に関しては、現行の総合振興計画基本構想において、グラフと施策指標で算出方法が同一のものに対して表記が異なっており、これらが同一であることを明確にするため、表記を統一するものです。不法投棄に関しては、現行の総合振興計画基本構想において、グラフと施策指標で掲載している数値について、より実態に合ったものとするため、算出方法の見直しを行い、表記を変更するものです。	資源リサイクル課
62	中小企業の育成支援	6.取組内容①	「創業者を支援するための制度融資等」の「等」とは何を意味しますか。制度融資に関しては「等」に該当することがこの後に記述されていますが、あえて修正前には無かった「等」を追加した思惑をお伺いします。	佐藤委員	創業者を支援するため、国が起業・創業する方に経費の一部を補助する創業・第2創業促進補助金の活用に必要な創業支援計画策定を進めているため字句を追加しております。	産業支援課
63	魅力ある新たな産業の推進	8.修正理由等	工場等移転利子補給補助金は市の独自財源ですか。その場合、予算措置を講ずる期間はどの程度を予定(決定?)していますか。	佐藤委員	工場等移転利子補給補助金は、住工混在地域の解消等を図るために設けられた補助金となっています。財源は、市の一般財源となっています。予算措置の期間は、補助金の交付期間が最長で10年となっていますので、移転状況を考慮し、今後、予算措置の期間を検討していきます。	産業支援課
65	就労支援対策の推進	6.取組内容	庁舎内に設置する「ふるさとハローワーク」はハローワーク川越等との連携を考えているのでしょうか。	佐藤委員	和光市ふるさとハローワークは、ハローワーク朝霞と連携し業務を進めており、他のハローワークと同一の求人等情報の提供が行われています。	産業支援課
76	情報公開制度の利用の推進	7.施策指標	修正予定値を示して下さい(不備)。	佐藤委員	「情報公開制度周知件数」のH26現状値は、「3件」です(下線表示漏れ)。	政策課
		8.修正理由等	空白なので、理由が分かりません(不備)。	佐藤委員	「指標現状値更新のため」という理由です。	政策課
77	広聴活動の推進	8.修正理由等	「行政苦情調停委員会」と記載されていますが「行政苦情等調停委員会」と「等」があるのが正しいのではないのでしょうか。法律的には「等」は微妙な役割を演じることが多い微妙な存在ですが、「行政苦情調整委員制度」にはこの「等」は引き継がれなかったのでしょうか。	佐藤委員	ご指摘のとおり制度の名称には、「等」を含んでおりますので、「等」を含む表現に修正します。なお、苦情等の「等」は、市政の改善に向けた意見を想定しております。	市民活動推進課